

 広志会 vol.1

県議会議員(山県郡)

宮本新八

しんぱち

山県郡北広島町細見863-1
[TEL] 0826-35-0517 [FAX] 0826-35-0770



〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会「広志会」控室
[TEL] 082-513-4620 [FAX] 082-223-0185
Mail : info@koushikai-h.com http://koushikai-h.com 広志会 検索

私たちの暮らす広島県は、多くの課題や問題を抱えています。とりわけ都市部以外の中山間地域においては、加速する少子高齢化で農林業の衰退や廃業などが

4月の選挙後の改編により、広志会は5名の会派となり交渉会派になりました。

私たち、財政改革を基本に「教育環境の向上」「福祉医療の充実」「雇用の創出」などに取組み、「住んでみたい広島県」を実現するための活動をしています。

このことは、県が図る活性化への各種事業を否定するものではなく、県民(あなた)の貴重な税金使途への自覚を促すために行つて参りましたが、今後も努力を続けていきます。

提出原案が充分な論議が



前列左より、砂原・城戸・宮本、後列は井原・佐藤

広志会議員紹介

会長 城戸常太 [呉市]
農林水産委員会委員 地方創生・行財政対策特別委員会委員
砂原克規 [広島市西区]
総務委員会委員 少子化・人材育成対策特別委員会委員
宮本新八 [山県郡]
建設委員会委員 安心な環境づくり対策特別委員会委員長
井原 修 [東広島市]
文教委員会副委員長 広域・国際観光振興対策特別委員会委員
佐藤一直 [広島市中区]
生活福祉保健委員会委員 地域魅力創造対策特別委員会委員

5名で広志会を結成

大好きな広島県のために議員の使命を遂げます

尽くされないまま認められるなら、議会は不要です。県の意向を踏まえ議案をチエックし、問題があれば修正や否決することは大切なことです。また、同時に対案や提案を意見することは、議員の最も大切な務めです。

広志会は、今後もしがらみや利益に惑うことなく、県民のためになるかを第一に思い、時には声を大にして進んでいきます。

交渉会派
こう しちょう かいは

議会の会派のうち、一定数以上の議員が所属している会派のこと。広島県議会では5名以上の議員が構成する会派を交渉会派としています。交渉会派になると、議会運営に携わることや本会議での代表質問権などを持つことができ、交渉の質量も拡大することから大きな躍進であると思います。

知事は直接選挙によって選ばれ、行政執行権が与えられます。この権限(力)に対して、充分なチェックをするために議会が必要となります。少数意見の尊重は民主政治の根幹に関わることで、民主主義は多数決ではありません。多数決を用いる以上「少数意見の尊重」がなければ、単なる「数による支配」になってしまいます。それは民主主義ではなく、全体主義なのです。

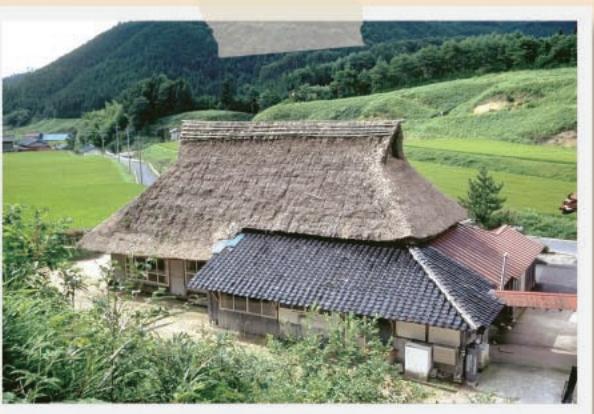
 広志会

山 県 郡 版

未来に残る地域を目指して

宮本新八

中山間地域の未来を見据えた地域づくり



地域の活性化に向けて
私たちの暮らす広島県は、多くの課題や問題を抱えています。とりわけ都市部以外の中山間地域においては、加速する少子高齢化で農林業の衰退や廃業などが

地域の中核となる新たな産業の創出や改革が急務
広島県には、先駆者から引き継いだ、有形・無形の資産が数多くあります。地域の

会委員長を拝命したことにより、県内各地の抱える少子高齢化問題をはじめとする過疎化問題や、人命に直結する自然災害発生の未然防止対策の推進など、子供や高齢者が安心して暮らすことのできる地域環境の整備と様々な地域課題への対応策の構築を委員の皆様とともに進めていきます。

皆様のご支援をいただき、8年ぶりの県政復帰を果たすことができました。改めまして心よりお礼申し上げます。今回、広島県議会自民党広志会・つばさに所属することとなり、新たな政治活動のスターとして切ることになりました。地域のために努力をしてまいりますのでよろしくお願いします。

中でも路網整備の充実は、地域住民の暮らしや地域経済の振興に直結する重要な役割を果たしてきました。山県郡はじめとする広島県の中山間地域や、島じょ部における路網整備は地域の生命線があります。今回、建設委員となつことにより、予算の配分から事業効果の達成に向けた取り組みを、地域住民の皆様や地域自治体の首長、議員の方々とともに、議論を重ねながら計画的に進めてまいります。

また、安心な環境づくり対策特別委員会委員長を拝命したことにより、県内各地の抱える少子高齢化問題をはじめとする過疎化問題や、人命に直結する自然災害発生の未然防止対策の推進など、子供や高齢者が安心して暮らすことのできる地域環境の整備と様々な地域課題への対応策の構築を委員の皆様とともに進めていきます。

相次ぎ、限界集落となる恐れがある地域も多くの点在しています。日本全体の縮図が広島県にあるといつても過言ではありません。そこで、地域住民の暮らしや地域経済の振興に直結する重要な役割を果たしてきました。山県郡はじめとする広島県の中山間地域や、島じょ部における路網整備は地域の生命線があります。今回、建設委員となつことにより、予算の配分から事業効果の達成に向けた取り組みを、地域住民の皆様や地域自治体の首長、議員の方々とともに、議論を重ねながら計画的に進めてまいります。

また、安心な環境づくり対策特別委員長を拝命したことにより、県内各地の抱える少子高齢化問題をはじめとする過疎化問題や、人命に直結する自然災害発生の未然防止対策の推進など、子供や高齢者が安心して暮らすことのできる地域環境の整備と様々な地域課題への対応策の構築を委員の皆様とともに進めていきます。

私たちの暮らす地域社会は、グローバル化時代の荒波に飲み込まれることなく、地域資源や地域特性を生かしながら、したたかに生きていくことこそが、未来に残るべき地域社会ではないでしょうか。

私たちの暮らす地域社会は、グローバル化時代の荒波に飲み込まれることなく、地域資源や地域特性を生かしながら、したたかに生きていくことこそが、未来に残るべき地域社会ではないでしょうか。